

こうふ町 議会だより

已のりある年を目指して!!



新春マラソン

補正予算等2P
所管事務調査4~7P
地方行政調査8P~9P
学園議会11P
一般質問12P~13P

議会のことをわかりやすくお伝えします

日野病院組合議会

令和6年11月26日に日野町役場において、定例会が開催されました。主な日程は、令和6年度病院事業会計補正予算で、それぞれ可決されました。概要は次のとおりです。

- 議案第17号 令和6年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第2号）
資本的収入1,639千円 ・鳥取県新興感染症対応力強化事業補助金1,402千円
資本的支出1,677千円 ・機器備品購入費（PCR装置）1,403千円
- 議案第18号 令和6年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算（第1号）
資本的収入 429千円 ・オンライン資格等導入に係る補助金 429千円
資本的支出 448千円 ・オンライン資格確認用端末 448千円
- 議案第19号 鳥取県市町村総合事務組合規約の変更について
・学校医等の公務災害に対する補償に関する事務を、鳥取県市町村総合事務組合の共同処理とするもの

日野町江府町日南町衛生施設組合議会

令和6年8月30日に江府町役場にて定例会が開催されました。主な日程は、一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正、組合会計補正予算等で、それぞれ上程され可決されました。概要は次のとおりです。

- 議案第10号 日野町江府町日南町衛生施設組合一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正について
・来年度から「ごみ処理施設くぬぎの森」で任期付き職員の採用を施設組合で任用できるよう「日野町江府町日南町衛生施設組合一般職の職員の給与等に関する条例」の一部に、新たに準用する「江府町一般職の任期付き職員の採用等に関する条例」を追加するもの。
- 議案第11号 鳥取県市町村総合事務組合規約の変更について
・学校医等の公務上の災害に対する補償に関する事務は、総合事務組合に移行できるよう規約改正について承認を求めるもの。
- 議案第12号 令和6年度日野町江府町日南町衛生施設組合会計補正予算第2号
・歳入差逸出それぞれ19,370千円を減額するもの者で、主な要因は、令和5年度からの繰越金の増額による。
日野町 △8,329千円、江府町 △7,716千円、日南町 △3,325千円

鳥取県西部広域行政管理組合議会

令和6年11月27日に定例会が開催され、承認されました。概要は次のとおりです。

- 議案第11号 令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計の決算認定について
・令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計歳入歳出決算を議会の認定に付するもの

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、12月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました。

受理番号及び受理年月日	件名及び要旨	提出者	付託先	審議結果
陳情第7号 令和6年 8月26日	現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書をあげるよう求める陳情書	鳥取県末広温泉町211 鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田安一	教育民生常任委員会	不採択
陳情第8号 令和6年 8月26日	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書	鳥取県末広温泉町211 鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田安一	教育民生常任委員会	趣旨採択
陳情第9号 令和6年 10月7日	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について	米子市米原2丁目3番20号 アーバンプラザ1F-4 鳥取県高等学校教職員組合 西部支部支部長 先瀬 文広 鳥取県教職員組合西部支部 支部長 内田 浩文	教育民生常任委員会	趣旨採択
陳情第10号 令和6年 11月5日	議会改革申入書 江府町議会議員定数を14名とする条例の改定 議員報酬を現行の50%減額の条例改定	発起人一同	議会改革調査特別委員会	不採択

一般会計予算総額 56億4,418万円 (補正額2,121万円減額)

12月
定例会

12月定例会は12月9日に召集され、12月16日までの8日間開催されました。
一般会計補正予算（第7号）特別会計補正予算〔国保事業勘定・施設勘定・介護保険（事業勘定）・老人保健施設・索道事業・簡易水道・下水道事業〕、条例改正、人事案件等の16議案が原案通り可決されました。一般質問は、10日に2名の議員が行いました。

補正予算の主な内容

一般会計補正第7号	歳出の主な内容
道の駅奥大山	製氷機・冷蔵庫購入 ……207万円
地域おこし協力隊起業補助金	……100万円
奥大山パレット臨時駐車場除雪費	……16万円
木谷沢周辺環境整備費委託料（CF）	……366万円
空き家再生住宅建築工事費	……1,226万円 減額
障害児給付費	……47万円
町営住宅団地公園遊具点検費	……26万円
森林環境基金積立金	……137万円
助沢地区有害鳥獣防護柵撤去費	……148万円
除雪費（固定分）	……1,000万円
県道維持計画変更分	……3,000万円
災害防除事業（国庫不採択）	……5,000万円 減額
学校ネットワークアセスメント委託費	……198万円
グローバル人材渡航負担金	……99万円

人事案件

教育長の任期満了に伴う新教育長の任命について
富田敦司氏が再任されました

任期：令和7年1月1日から令和10年12月31日の3年間

総務経済常任委員会

調査日 令和6年11月15日

所管事務調査報告書

この度「総務経済常任委員会」は、せせらぎ公園あやめ館、旧米原分校、合同会社みちくさ、合同会社えんちゃんの4カ所の事務調査を行いました。

調査内容 (現状及び考察)

せせらぎ公園あやめ館

① 初期事業目的・事業内容・最終目的について
町と天籟株式会社は、人と地球の健康増進を主目的に2022年11月「プラネタリーヘルス」推進に関する連携と協力の協定を結び事業を行っている。クラ



せせらぎ公園グラウンドゴルフ場トイレ新築

ウドファンディング「奥大山SDGsプロジェクト」における町委託料1561万円を活用し、せせらぎ公園再生事業としてビオトープ再生、公園再生、土中環境水源再生を行っている。最終目的は、大山麓流域全体の連携を計り、山陰エリア全体を体験型の学びの場とするプラネタリーキャンプパスを構想し、その情報発

信をして、初期の目的を達成しようとしている。
② 現状と目標について
農業支援事業として令和6年11月に三菱地所と連携し奥大山プレミアム特別栽培米を、流通した。今後の目標としては、東京エリアの企業等から町へ農業体験ツアーの受け入れ、二拠点居住推進や移住定住促進に力点を置く。

考察

農業支援事業について、米以外にも支援事業を構築し体験型ツアーの促進など行政と連携し事業を加速されたい。

旧米原分校

① 来場者数と事業内容について
令和5年度の来場者総数は、全国から約500人で、9月には、BMX大会を開催し、大会参加者を含め約250名の来場者があった。

② 前年度と比較した改善点について
従来から課題であったトイレ改修について、浄化槽工事の修繕が完了し使用可能となった。

BMXパーク練習場の安心安全の為、一部のコンパネ張替を行い強度確認をした。

補修作業を行った。

③ 決算状況について
年間の収入は、指定管理料13万2千円と、その他助成金約45万円で、施設必要経費の年間支出は、約91万円である。

④ 地元住民及び周辺集落との交流状況について
BMX大会開催時における来場者の駐車場について、地元集落の理解を得て、住民の方の所有地を利用した。

⑤ 今後の展望、要望について
屋外に本格的なダートコースを作り、オリンピック選手を講師に招き、奥大山江府学園生対象に自転車の講習会開催を計画している。

考察

旧米原分校の施設内コースについては、安心安全で怪我のない

合同会社みちくさ

いコース作りが必要である。その維持修繕には相当な費用が掛かり、現在ボランティアなどで凌いでいるが、将来を見据え指定管理料の増額を検討されたい。又、クラウドファンディング奥大山BMXパークプロジェクトで、施設内の改修等を計画しているが、併せて人材の雇用も検討されたい。

① 売上高について

平成30年度が約2000万円で、令和5年度は約1800万円となっている。餅の売り上げについては、餅製造設備の導入後令和5年11月の前年同月比では、110万円の増であった。

② 会員数について

平成30年度が100名で令和5年度は89名であり年齢層は70、80代となっている。

令和6年4月1日から合同会社みちくさを立ち上げ出資者は69名である。
③ 餅製造設備の稼働率について
餅製造設備導入後で製造日数が令和5年度では48日間、今年度は120日間と2.5倍となっている。

④ 次年度の目標について

売り上げ目標は、2000万円としている。その為には特に餅部門の稼働日数を増やすこととなる。
⑤ 要望について
年間を通して、餅の販売に力を入れるためには、餅の安定した保存ができる大型冷蔵庫を望む。

考察

現状での課題は、会員の拡大が急務とされる。会員募集について、町内に留まらず視野を西部地区

合同会社えんちゃん

エリアに広げる必要があると考える。餅の年間販売を実現するため早急に大型冷蔵庫の設置を検討されたい。

① 売り上げについて

令和5年10月現在（江尾店、ひまわり号、こまわり号、神奈川店）と令和6年10月現在（佐川店、江尾駅内店、こまわり号、こまわり号、神奈川店）の前年同月比は93%となっているが、総客数においては34名の増であった。

② 佐川店の自己評価について

とても満足で、ありがたく利用させていただいている。

③ 江府町買い物福祉サービス支援事業について

考察

見守り訪問実績件数は月平均230件で、体調が悪そうであったり目視で変調等を発見した場合、速やかに専門機関に報告連絡相談をしている。

④ 出かける役場との協調状況について
令和6年4月初旬1週間程度、役場職員が移動販売車に同行し、住民と意見の聞き取り等を行った。

⑤ 要望について
佐川店周辺の除雪対策を検討していただきたい。

考察

江府町買い物福祉支援事業については成果が出ている、引き続き業務を遂行していただきたい。当該佐川店周辺の除雪対策や風雪等による建物劣化を防ぐ為、対策を早急に検討されたい。



みちくさ調査



餅つき機(搗き太郎)

教育民生常任委員会

所管事務調査報告書

調査日 令和6年12月4日

この度「教育民生常任委員会」は、江府学園、保育園、老人施設を調査いたしました。

奥大山江府学園

①今年度の児童、生徒の状況と今後の予想状況について

令和6年度の児童、生徒数は128名であり、プナの森校舎69名日野川校舎59名となっている。令和7年度は121名、令和8年度は126名、令和9年度は123名を予定している。その後、120名前後で推移し、令和12年度には111名と減少することが予測される。

②いじめ、不登校など児童の生活状況について

いじめについては、確認されていないが過度の悪ふざけなどがあつたことを、確認している。いじめに発展する可能性があるため、今後とも注視していきたい。不登校については、本校では7日以上が20名、30日以上が5名いる。

③特色のある取組など、学習状況について

英語や美術の授業

において、中学の専任教師が小学校に来ている。

・7年生は、どんな仕事があるのか職業調べを行い、8年生が町内の事業所で職業体験をしており、良い経験ができると思う。

④今年度の職員の充足状況について

職員数は43名であるが、今後、学習支援員のニーズが増していくと思われる。

・前期課程小学校で教科担任制を推進し、後期課程（中学校）で各教科の充実を図るためには県費負担職員数は、この人数が最低必要である。

・町職員についても今年度と同様の配置をお願いしたい。特にほとんどの職員を常勤としてもらっていることが大変ありがたい。年々支援の必要な児童生徒は増加傾向にあり、対応を必要とするケースも増えてきているが、来年度は学習支援員

の1名増の要望をしている。また、引き続き本校が施設分離型であることを前提として職員配置を考慮頂くようお願いしたい。

⑤現体制のメリット・デメリットと思われる事項について

・メリットは5年と6年の間に適度の段差がある。6年が一足早く中学校的な生活を体験できる。5年がプナの森校舎の最上級生を体験できる。9つの学年が触れ合うことで、上級生に対する「あこがれ」や下級生に対する「やさしさ」を育むことができる。

・デメリットは外部とのかわりが煩雑（小学校、中学校の卒で対応しなくてはならない）校舎が分かれていて、職員が日常的に直接会うことが難しい。全校行事等は移動に時間がかかる。（バス代等の予算化はありがたい）

考察

今年の江府学園の体育祭は、1年生から5年生が一緒に競技や演目を行っている。ここ数年、極暑の中での練習であり、熱中症に注意しながら、水分、塩分を摂取が欠かせない。体育祭の時期を変更してはどうか。

奥大山江府学園は

不登校者が5名であり、以前は不登校から、学校に通えることが目標だったが、現在は、カウンセラー等を利用してフリースクールに登校することも必要と感じる。

子供の国保育園

①今年度の保育数状況と来年度以降の保育数の予想状況

令和6年12月1日現在、年長児が9名、年中児が15名、年少児が15名、未満児が32名となっており、園児数は71名であり、今後は園児数の減少傾向となっている。



洋式に改修されたプナの森校舎のトイレ

②今後想定される利用状況について

稼働目標90%としている。単月で見れば達成した月もあるが、年間平均で85.3%となっている。4人部屋においての性別及び、金銭の問題等あり、満室は難しい。

③職員体制と今後の展望と要望について

・現在、研修生としてインドネシアから3名、中国から1名を受け入れており、宗教や生活習慣の問題で気を使っている。

・職員には仕事に対する意識、技能の強化として各種の資格及び、技能の習得や研修会への参加をしている。

・介護人材の状況は、常勤介護職員23名、非常勤介護職員5名、特定技能外国人材1名、技能実習外国人材3名、計32名となっている。

④施設運営における経営状況と将来展望、要望について

令和6年度8月時点では前年対比107%の実績となっている。

⑤全般における現時点での不満点と改善策、要望事項について

・職員の採用については、町内の方を優先したい。また、町外から採用したくても住宅がない。遠くから通勤してもらっているのが町内に住宅が欲しい。

⑥あやめ等施設の今後における利用推進策の提案について

・国の施策として、ICT機器を介するインフラとして導入することが必要不可欠となっている。ICT機器の導入にお

考察

江府町は介護分野において職員採用が困難な状況が予測されるため、ICT機器の導入が必要となってくる。目的は各部屋を可視化することにより、職員の部屋に行く回数大幅に減少する。また、入居者の睡眠を妨げないなど様々な利点もあり省力化が図れる。したがって早期に検討する必要がある。

考察

ICT機器とは…パソコン、プロジェクタ、デジタルカメラ等の情報機器

※ICT機器とは…パソコン、プロジェクタ、デジタルカメラ等の情報機器

※スチームコンベクションとは…水蒸気と熱風を利用する加熱調理器

事がある時、どこに車を止めればよいのか、不安を感じる。

考察

現在の保育園は車寄せ場を含め、駐車場の狭さを感じる。園内に5台の車が駐車しており、こどもに對しても不安を感じる。新しい保育園は周辺の土地を購入してでも、広い安全安心な駐車場の確保が必要と感じる。

尚仁福祉会・介護老人施設あやめ

①令和5年度と令和4年度の利用者状況について

令和5年度は、施設長（医師）の交代、局長の交代等、新体制となり、入所受け入れに對する条件の幅も広がったため、年間入所受け入れ数は81名となり、令和4年度実績62名に對し130%と大きく改善した。

②保育士の充足状況と正職員と会計年度任用職員数の内訳

正職員は6名、会計年度任用職員9名、パート2名、夕刻の職員1名で構成している。職員数は満たしている。

③特色取り組みなど、学習状況について

子どもたちが遊ぶための保育環境を整え、個々が満足するまで主体的に遊び、十分に遊びを体験することで、次のステップに挑戦する学びにつながる保育。

・臨床美術体験を通じて感性を磨き、豊かな心を育てる。

（年長・年中児年5回）

・運動遊びとして、専門家の指導のもと、運動能力向上を目的として、楽しみながら様々な運動遊びを行っている。（年長・年中児 年10回）

④新しい保育園へのハード・ソフト面における提案について

土曜日、日曜日は

⑤現在の保育園への不満点、要望点について

・保育以外のことは省力すべきであるが、保育時間が減少してきており、早朝や夕刻に事務的な事もやってくる人が欲しい。資格を持った人を募集するが、応募がなく困っている。

⑥新しい保育園への不安点、要望点について

・取り付け道路、車寄せ場を含め、子供たちの安全、安心はどのように確保されているのか。

・新しい保育園の図面上、駐車場が狭く感じる。保育園の行

地方行政調査特別委員会

調査日
令和6年11月6日～7日

この度「地方行政調査特別委員会」は昨今の情勢を鑑み議員定数の参考にするため高知県の3町村を視察してまいりました。



馬路村議会棟の見学

- ・ 2000人位までは10人が良い。
- ・ 人口が減っても面積は変わらない安易に定数を変えてはいけない。
- 5. 議会活動の実態について
 - ・ 定例会や9つの委員会には議員と事務局3人とでこなしているがこれ以下では困難である。

高知県大川村

- 大川村（おおかわむら）は、高知県土佐郡にある村。四国山地の標高1000メートル級の山々に囲まれ、鉱山開発や林業の最盛期だった1960年代には、パチンコ屋や料亭、スーパーマーケット、映画館が建ち並び、高知県でもトップクラスの平均所得を誇っていたが、早明浦ダムの完成・湛水や銅山（白滝鉱山）の閉鎖もあって人口は1950年代の4000人から激減した。奈良県吉野郡野迫川村と共に、離島を除けば日本で最も人口の少ない自治体の一つ。
- 1. 人口：351人
- 2. 議員定数：6人
- 3. 議員定数について
住民の評価：8名の



大川村役場全景

- 時はさらに少なくてもよいとの意見もあつたが、現在は何も聞かされていない。
- 4. 議員定数について
議会の自己評価：少ないと思う、10人は必要と考える。
- 5. 議会活動の実態について
 - ・ 議会活動に支障がある
 - ・ 議会だよりなど広報活動が出来ない

高知県大豊町

- 昭和30年3月31日、東豊永村、西豊永村、大杉村、天坪村の4か村が合併し発足した大豊村から始まる。その後、旧天坪村南部5集落が香美市（旧土佐山田町）に編入された。古くは豊永郷と呼ばれ、四国のほぼ中央部に位置し、昔から南北を



大豊町議会の視察状況

- 結び交通の要として、吉野川及びその支流沿いに発展してきた。全国でも指折りの大村として推移し、現在の行政区画が設けられ、昭和47年4月1日には、高知県下25番目の町として町制を施行、大豊町と改称し2000年には人口約6400人を数えたが減少の一端を辿り今日に至る。
- 1. 人口：3049人
- 2. 議員定数：10人
- 3. 議員定数について
住民の評価：
 - ・ とにかく予算を縮小するべきとの意見が多数あつた。
- 4. 議員定数について
議会の自己評価：
 - ・ 最盛期の18人から財政難や人口減で10人になったが民意が伝わらない。

高知県馬路村

- 昭和中期ごろより中心産業として栄えた林業が衰退の一途を辿り、それに代わる産業としてゆずを使用した地域活性化を図った。昭和60年代にはゆずの商品が次第に認知され売り上げの増大に成功した。また、度々の合併の機会にも村民の反対により単独を選んできた。しかしながら、昭和35年には3425人を数えた人口も急速に減少し現在に至っている。
- 1. 人口：774人
- 2. 定数：8人
- 3. 議員定数について
住民の評価：
 - ・ 議員定数に係る話はない。
- 4. 議員定数について
議会の自己評価：
 - ・ 6人では無理、現状維持したい。



馬路村役場の全景

- ・ 10人が最良と考える。
- 5. 議会活動の実態について：
 - ・ 議会だよりは単独発行できない。
 - ・ 住民懇談会など実施していない。
 - ・ 子ども議会は議会棟新築時に学校側から依頼があつたが議会から断り現在に至る。

考察

各町村とも平成の合併の荒波を乗り越え紆余曲折を経ながら今日を迎えている。方や財政難により議員定数削減のやむなきに至り、方や住民の声を取り込み侃々諤々の議論の末に今日に至り、何れも少数精鋭の議員定数で議会の運営を図っているといえます。しかしながら、一般的には住民の数に比例

するような世論に対し実際に於いては、議会運営と住民サービスの限界点は別のところにあるとの見解が3町村に共通しているとの見方を示すのが妥当と拝察するところであります。大方のキーワードは“10”を指示しており、

今後わが町において定数を鑑みるにあたり重要な数値となることは必定と考えます。この様な考察をもって本調査事件の報告といたします。

議員表彰

総務大臣感謝状を受賞

この度、川端雄勇議員が地方自治の振興・発展に寄与されたことに対し、総務大臣から表彰されました。川端議員は、9期35年以上の永きにわたり議員を務められ、その間、議会議長4期8年をはじめ多くの役職を歴任され、地方自治の貢献・発展に大きく尽力された功労が認められ表彰されたものです。



川端雄勇議員 謝辞

この度、総務大臣より町議会議員として35年以上の永きにわたり、地方自治の振興・発展に寄与したことで感謝状を頂きました。これも偏に先輩議員の皆様・同僚議員の皆様、そして、町長さんをはじめ、多くの皆様のお陰であり心から感謝を申し上げます。顧みますと、平成元年6月の町議会議員選挙で初めて当選をさせて頂きました。以来9期35年、3人の町長さん、福田町長さん、竹内町長さん、そして白石町長さんと是非々々で議論し、町民の皆様の福祉の向上に努力をして来ました。これからも微力ではありますが、町民の皆様が安全で安心して健康に暮らせる、人権文化の香り漂う町づくりを推進して行きたいと考えていますので、今まで以上のご指導を賜りますことをお願い致します。お礼の挨拶と致します。

令和6年度鳥取県町村議会議員研修会

令和6年11月25日三朝総合文化ホールにおいて開催された、鳥取県町村議会議員研修会に参加し、研修をしてきました。



演題 「町村議会の論理と作法—その基礎から学び、考える」
講師 参議院法制局長 慶応義塾大学大学院法務研究科 客員教授 川崎 政司 氏

1 自治体議会の置かれている状況

- ① 高まる重要性と期待
*自治体議会を取り巻く環境の変化
*地方自治法の議会に関わる規定の頻繁な改正
*高まらない住民の関心
*議会の役割の重要性と議会への期待
*各地での議会改革の動き
- ② 忍び寄る危機
*低投票率・無投票当選と、なり手問題
*不祥事と議員の言動をめぐるトラブル
*ICT・デジタル化等の進展による自治体や議会への影響
*パターン化と形式化・マンネリ化
*懲罰の増加と荒れる議会
*叫ばれる民主主義の危機

演題 「地域公共交通充実とは人口減少・少子化を防ぐ定番処方である」
講師 名古屋大学大学院 環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 教授 加藤 博和 氏

- *クルマがなくても！誰でも気兼ねなく「おでかけ」できる、これが地域公共交通の役割
- *子供や高齢者が自由に動けることは、実は地域存続のためにすごく大切な事
- *公共交通を自ら「つくり」「守り」「育てる」ことの必要性をきちんと考える
- *みなさん、ぜひ、地域公共交通を、そして地域を、日本をよくするため、今こそ決起しましょう！

学 園 会 議

「学園議会」が11月22日（金）に、江府町役場議場で開催され、奥大山江府学園9年生17名が、5班に分かれ町長へ質問しました。それぞれの班ごとに実際に町へ出かけて、関係者に調査・取材をしながら質問内容を考え、寸劇を交えて説得力のある質問で、町長から前向きな回答を引き出していました。

1班質問者 澤田花菜乃議員
『ポッチャで あそぼっちゃー』

質問 若者と高齢者の親交を深めるため、「ポッチャ」大会を開催し、江府町産品を提供して産業振興になると思いが伺います。

町長答弁 私も皆さんもずっと距離を近づけたいと思うが、交流を深めるのに「ポッチャ」が良いのかと思います。

教育長答弁 以前、明德学園との交流を持った。教育委員会も全面的に協力したい。

再質問 大会を開くには、お金の問題が出てくる。予算はどれくらい使えるのか伺いたい。

町長答弁 まず、ニーズをしっかり把握して、予算を確保していく流れにしたい。

2班質問者 塩見莉子議員
『快適☆セカンドハウス』

質問 若者同士の交流を増やす活動、施設が、町を活性化させると思う。空き家を利用し、セカンドハウスのような施設にしたらと思うが伺いたい。

町長答弁 今、江尾駅前の活性化事業としてそうした施設を計画し協議している。ぜひ皆さんにも関わってほしいと思います。

再質問 今進めている計画は期待したいが、学習教材や、ゲーム機の貸し出しは可能か伺います。

町長答弁 学習教材については充実させたい。ゲーム機の話は、整備内容が問題だが、行きたいと思える施設にしたいので、意見を願いたい。

3班質問者 浦部 響議員
『GOOD FLOWER賞』

質問 地球環境の維持にフードロスの取組が重要。その活動をしている団体や個人を表彰し発信することが、町民の理解向上と、プラネタリーヘルス推進になると思いが伺います。

町長答弁 地球環境の維持とフードロスの関係はあまり町民に知られていないと思う。町も応援をしたい。

再質問 この受賞は応募で私たちが選定する形にしたいが、応募の宣伝をしてもらえるか伺いたい。

町長答弁 お安い御用であります。是非、実現に向けてやっていただきたいと思います。

4班質問者 西田蒼真議員
『自然協生活』

質問 「協生農法」を活用して、野菜栽培、収穫祭を開催し、地域交流を深め、プラネタリーヘルスの活動と合わせた自然協生活を提案したいが伺いたい。

町長答弁 今、せせらぎ公園では、イベントや環境整備など行われていて、ぜひ皆さんも体験して、このアイデアを実現してほしいと思います。

再質問 自然協生活の活動のための土地を町から提供できるか伺いたい。

町長答弁 町民の交流が目的であるから、その実現に向け町も協力していきたい。

5班質問者 中尾美味議員
『ネイチャーランド』

質問 江府町の自然を活かした屋外施設をつくり、地域の人たちや学生たちが、楽しく町内で過ごす町づくりが必要と思いが伺いたい。

町長答弁 江府町の特徴を生かした施設をつくれれば、町内で人が交流できるということはその通りと思う。町内をいろいろ回っていただける楽しい施設の計画を考えたいと思います。

再質問 町内にあるせせらぎ公園、エバーランドとか佐川の他にもどういう場所が考えられるのか伺いたい。

町長答弁 他には皆さんのお住いのところに、そんな場所があると思う。もう一度見直してみることもいいのではないかと。

町政を問う!! 2名の議員が一般質問

持続可能な町づくりのための農業維持政策について



森田 哲也



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

農地を守るための集落を守る町づくり

質問 中山間地では、「人」・「土地」に続き「集落」の空洞化が起きている。国や県の方針は、効率の良い集落営農などに主眼が置かれているが、中山間地は、その方針では困難。本町にあった農業推進体制の変更が必要と思うがどう?

町長答弁

ぜひ、農地を守り、集落を守っていききたいと考えているが、皆で共同して守ってきた農地だと思っている。やはり集落営農化への推進は進めていきたい。個々の兼業農家を支援するという方向転換はしていくと思う。

農地を守るための対応策は

質問 個々の農家が安定していないと人材の確保も難しく、集落営農という組織の確立は困難ではないか。共同作業も次第に厳しくなっている。個々の農家支援と共に、共同作業などの支援も考える必要があると思うがどう?

町長答弁

集落の皆さんが出役をし、水路管理や草刈りをして農地を守ってきたと思っている。今ある中山間直接支払や多面的機能の制度を活用したいと思う。集落営農などが困難な地区は、移住など人を呼び込むことが必要と思っているが、さらに支

援策も必要と考える。

個々の対応策も出来るのではないかな

質問 個々の支援は難しいとあったが、令和3年米価暴落により危機的状況になった水稲農家支援のため一反当たり二万円を助成し、農地確保のために支援した。今こそ、集落維持対策の行政の検討チームを作り、的確に協議をしていく時期だと思つ。また、関係人口は重要だが、同じく農業維持の政策が必要と思うがどう?

町長答弁

米価下落時の対応は、臨時的な措置である。関係人口については、この度、二地域居住促進法ができ、「農業公社」、この「こころのたより」を支援法人として、農業をする人と住居を見つめるなど、担い手呼び込みのことを考えている。

集落出身者は貴重な関係人口、支援策を

質問 今、本町の農業維持には、集落出身者が帰



守りたい!農地をそして集落を

江府町の人口減に対する施策の実例 外郭団体の合併による業務の効率化、 地域おこし協力隊の定住対策について



加藤 邦樹



加藤議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

外郭団体の合併による業務の効率化について

質問 江府町の人口は、11月末現在2478人。国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計(令和5年12月推計)」では、本町の人口は令和7年2333人で2500人を切っているという推計。この数値を見ると5年間のうちに江府町の人口減が加速度的に進んでいる。人口2000人になるのは令和12年で2047人、あと6年で2000人を切るかもしれない。

人口減が続くとうなるが、地域資源の地域の祭りやイベント、農地の維持管理、空き家の増加

により、単純に町や集落、各種団体でこれまでできていたことができなくなる。

こういった状況で、町内の観光振興、空き家対策と定住対策、農業支援等を担う外郭団体の業務は、これまで以上に需要が高まり、効率化と事業拡大が必要となるのではないかと、そのため、従来のそれぞれの団体で対応していた事業を、合併もしくは共同運営を行うことにより、業務の重複の解消、並びに効率的な資源の活用がなされ、また役場の事務負担の軽減も期待されるのではないかと、外郭団体の合併もしくは共同運営についてどう考えられているか伺う。

町長答弁

外郭団体の合併の事業の効率化について、役場の話であれば業務の効率化について話せるが、役場の外話でそれぞれ主体が自立し独立した団体であるため行政から指示は出せない。一般論として例えば給料の支払い等を共同で行うことなど事務が効率化されることは理解できる。各団体から話があれば相談には乗りたい。

地域おこし協力隊定住対策について

質問 集落の会合や出役で出てこられる人が少なくなっている。この集落でも似たような状況で何とか人口を増やす手段の一例として地域おこし協力隊が、移住定住対策に非常に有効であると思つ。

現在江府町で採用されている協力隊は、10名、この制度は通常3年が任期で、その後の定住していただくのがこの事業の本来の目的だが、定住す

り、出役や農業をしていることが、大きな要因だと思つ。町外に住居を構えても、集落に自分の家を守っている。そうした方たちを支援して、帰りやすい環境づくりが必要と考える。集落出身者は、二地域居住者と同じで、将来Uターンも期待できる貴重な関係人口であり、しっかりと、支援すべきだと思つがどう?

町長答弁

現在、集落座談会を実施しているが、単なる要望を聞くだけでなく、どうすれば元気になるか考える場になりたい。こうした機会を通じていろいろ話し合い、一緒になってアイデアを出していきたいと考えている。

町長答弁

協力隊を起業目的で募集するより、町のミッションにより町に移住して、この町が好きになって、自分の頭の中でこんな事業ができるということをイメージして、起業をされるということが自然の流れだと思つ。起業のための補助金、施設もあるのでは支援は可能であると思つ。今後、いい方をたくさん地域おこし協力隊で受け入れていきたい。

総務課長答弁

協力隊の副業は4名、「地方公務員法第38条」に基づき規定している「江府町職員の営利企業等の従事に関する許可の基準に関する規則」により許可している。また町内定住、起業に向けた準備のための副業も許可している。人口減や高齢化が進んでいる江府町としては、法の許す限り弾力的に対応していきたい。

2起業家の募集について 武庫に、なないろサロンの整備され約1年、多

くの方がなないろサロンを使用されている。最近では学生の方が勉強されている姿が見かけるようになった。サロンとしての機能が十分生かされている。なないろサロンは起業家が活動しやすい環境である、協力隊をなないろサロンに配置して、町内で活動する起業家を募集することにより、江府町の特色を生かし町内の地域に根差した起業と定住が期待できるのではないかと。

私のひとこと /



吉原 富永 勇太

BMXの聖地へ

私は、岡山県倉敷市に生まれ※BMXを10歳から始め17歳でプロデビューし、その後BMXショップを経営しつつ国

内外に遠征をしてみました。

2016年4月に「水の美味しさ」「ちよつど良い標高」を決め手に江府町へ移住することを決めました。2018年から特定非営利法人こうふのたよりの応援を得て、旧米原分校をBMXコースに改修し、年1回9月頃にBMX大会を開催しています、4度開催してきましたが大会来場者は平均300名になりま



令和5年開催バーンスロージャムBMX大会(旧米原分校)

す。参加者は世界各国からあらゆる選手が来ます。私の夢はこの施設をカフェにし、人がたくさん集まる場所と宿泊施設にすることです。私の父親が昨年10月から笠原原に移住してきたので、大工の経験を活かし工事を手伝ってもらい、自作で作ろうと計画しています。昨年は、熊本県内・八頭町内のパーク設計を受けたり、今年、境港でイベント計画を依頼されるようになりました。江府町へ永久に住もうと思っています。よろしくお願ひします。

※BMX(バイシクルモトクロス)……..
自転車競技の一種で、特定の自転車を使用した競技。
東京2020オリンピック正式種目として実施



今年には県内の自治体議会議員選挙が、最も多く行われる年になります。しかしながら各自自治体ともに、なり手不足が大きな問題であります。江府町議会では、昨年議員定数について住民懇談会を開催しさまざまな意見を頂き、その後高知県大川村・大豊町・馬路村の視察を行い、議会改革調査特別委員会では侃々諤々の議論を重ねています。今後についても住民の意見を踏まえ議員一同議論を重ねて参りたいと考えておりますのでご意見をお寄せ下さい。

加藤 周二

広報公聴常任委員会

- 委員長 阿部 朝親
- 副委員長 川端登志一
- 委員 森田 哲也
- 委員 芦立 喜男
- 委員 加藤 周二